

当クラブは今年度30周年を迎えます。前々年度に実行委員会を立ち上げ、準備を進めて来ています。

その際、昨今の経済情勢を鑑みて、クラブ内で30周年事業をするのか、しないかの議論から始まり、実行するのであればどのような事業……質素にするのか、または先が見えない不安な経済情勢や不活発なクラブの活動状況だから元気が出るようなことを行うのか等……にするのかを会員みんなで話し合い、最終的に実行することになり、実行委員会を立ち上げました。次にどのような記念事業をするべきか話し合い、最後に当クラブが伝統的に行ってきた青少年育成に関連するものと、近年注目度が増している環境問題にかかわるものにしぼられ、結果として市内の小中学校の総合学習に組み込まれている環境学習を経済的に支援することになりました。(2009年4月に小学校7校と中学校2校に支援を始めた)

2009年11月～12月にそのうちの3校に途中経過の視察に訪問しました。下の写真はその中の1校(小学校)に行った時のものです。(全校児童が野菜を中心とした作物の生産体験活動および自然や勤労生産に関わることを通して食糧問題や自然保護、環境保全問題などを考える学習)

2010年3月迄に各校から報告書を提出してもらい、その中から2～3校を選んで、4月にガバナーをお迎えしての記念式典(町田市の児童の教育施設 ― ひなた村)で発表してもらい、表彰する予定にしています。

さらに、それらの報告を小冊子にまとめ、広報を兼ねて他の児童、親御さん、学校関係者に環境についてもっと関心を持ってもらえるように、市内の公共施設やすべての小中学校等に配布し、どなたでも内容を知ることが出来るようにすることを予定しています。

現在のところ、経済支援を行った各校の先生方からは大変喜ばれており、この事業がクラブ内外において好評であれば、クラブとしては次年度以降も継続していくことを考えています。



社会奉仕活動

東京八王子東RC 幹事 舟津 治夫

八王子の甲州街道沿いの「いちょう並木」の素晴らしさは、ご存知の方も多と思います。

「いちょう祭り」も 毎年盛大に行われており、太陽の光に黄金色に染まり、深まる秋の風物詩としても有名なイベントになって、市内外から多くの人々が訪れます。その「いちょう」も祭りの後は散った落ち葉が歩道を覆いつくし、歩行者の歩みの邪魔を致します。そこで八王子市を中心として各自治会、各団体のボランティアが甲州街道の高尾町から高倉町迄の9kmに渡り、落ち葉・タバコの吸殻・ジュース缶等を掃除いたします。毎年1回とは言え大勢が早朝の寒い中を懸命に清掃していきますと汗ばんできます。2009年11月29日(日)早朝6:40 第18回目の「甲州街道クリーンデイ」が開催されました。当クラブも第1回から参加しております。

地元の自治会の方々と和気藹々と額に汗してがんばりました。支給された箒を使用する人や自宅の熊手を使用する人等さまざまですが、見る見る内に大きなゴミ袋が山積みされていきます。当日は暖かく暑く感じるほどでした。最後に全員で記念写真。皆、良い顔をしていると思いませんか? 箒、軍手、ゴミ袋だけですが大々的な活動ができ、これこそ我々の体を使った社会奉仕活動の原点ではないかと会員一同清々しく、高く澄み渡った青空を見上げました。今後もロータリークラブを通じて社会に恩返しをしていきたいと強く感じたものでした。

